第２回　福岡市道路整備懇談会　議事録

■日時：令和２年７月 27 日（月）10:00～12:00
■場所：エルガーラホール７階　会議室２
■出席者：＜委員＞
座長　辰巳　浩　（福岡大学工学部　社会デザイン工学科　教授）
榎本　拓真　（福岡地域戦略推進協議会　事務局長補佐）
黒田　清　（公益社団法人福岡市老人クラブ連合会　常務理事）
坂元　ゆかり（福岡市 PTA 協議会　副会長）
清水　邦之　（NPO 法人福岡市障害者関係団体協議会　理事長）
萩島　理　（九州大学大学院総合理工学研究院　IFC 部門　教授）
松永　千晶　（福岡女子大学国際文理学部　環境科学科　准教授）
三笘　和弘　（公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー　事務局長）
村上　哲　（福岡大学工学部　社会デザイン工学科　教授）
＜行政アドバイザー＞
鈴木　通仁（国土交通省九州地方整備局福岡国道事務所長）
松岡　淳　（福岡市住宅都市局都市計画部長）
＜事務局＞
道路下水道局計画部道路計画課

■議事概要：◎座長　　○委員　　△事務局

（１）第１回懇談会の振り返りと補足説明について（資料１）

特に意見なし

（２）今後の道路整備の基本的な考え方（案）について（資料２）

■議事録：

◎：Ｐ６に新しいキーワードと言う文言があるが、次期計画で新しいキーワードと記載するのか。

△：最終的には新しいキーワードとの表現は使わず、ビジョンや柱の考え方に反映させる。

○：Ｐ５の福岡市を取り巻く状況では大地震発生への備えが必要と記載があるが、Ｐ６では激甚化する気象災害への備えが必要となっている。両方とも大事なことなので、両方記載した方が良い。

△：資料に反映する。

○：Ｐ５に新型コロナウイルス感染症対策について記載があるが、Ｐ７には具体的な取り組みが記載されていない。先日、市が発表した飲食店にテラス席を認めると言うような具体的な取り組みを記載した方が良いのか分からないので、意見を伺いたい。

△：国土交通省ではウィズコロナやポストコロナの道路施策が始まったところであり、本市においても、道路占用許可基準の緩和について取り組みを始めている。引き続き、国の動向に注視し、実施可能なものから取り組んでいく。

◎：先が見えない中、具体的な施策として盛り込むには難しいと思うが、計画の最初の文章に「新型コロナウイルス感染症対策の状況を見据えながら柔軟に対応していく」などを記載してはどうか。

△：道路には、市民の安全安心を守る機能や経済活動を支える役割など多様な機能や役割があり、新型コロナウイルス感染症対策に対する対応については、そのベースを支えるものと考えており、新しい計画を考えていく上での前提条件として検討したい。

○：新型コロナウイルス感染症対策は、長期的に見れば一過性のものと思うが、国の方では、歩行者利便性増進道路などの制度が策定されており、福岡市においても道路占用の適正化の中で新たな道路の使い方を検討してほしい。

△：新たな道路の使い方については、社会情勢などを踏まえて、記載内容を検討したい。

○：使いやすい路外駐輪場を確保することが重要であり、施設であって道路の話ではないかもしれないが、附置義務条例などを活用し、路外駐輪場を確保する内容を記載した方が、理解が進むと思うので検討してほしい。

△：路上駐輪場はあくまでも暫定的な施設であり、恒久的な駐輪施設ができれば、路上の暫定駐輪場は廃止していく。

◎：本計画は道路の計画であり、路外駐輪場は道路では無く民地側の附置義務で対応することになるが、計画にどこまで記載できるのか。

△：記載できる内容について、関係部署と検討していく。

◎：本計画では具体的な施策の記載は難しいと思うので、背景やバックグラウンドの部分に「路外の駐輪場が附置義務などで整備が進んでいるので、それに合わせて～」などを記載するだけでも良いと思う。

△：了解した。

○：他都市の主要駅や空港には、障がい者や高齢者専用のタクシー乗り場がある。天神や博多駅などの人の往来が多いところに、障がい者や高齢者にも使いやすいタクシー乗り場を検討してほしい。特に、天神ビックバンなどの開発計画が予定されている箇所などに、健常者と障がい者が分離され、それぞれが使いやすい乗り場を整備してほしい。

△：市の施策として道路のバリアフリーを進めており、タクシー乗り場を誰もが使いやすい形に整備していくことは重要と考えている。新たなタクシー乗り場の確保には道路交通法上の規制などの制約があるため、交通管理者と協議し検討したい。

◎：天神に関しては、渡辺通りにタクシーが停車して，１車線を塞いでいる状況を考えないといけない。タクシー乗り場の位置をきちんと考えた上で、障がい者が使いやすい形とするべき。

○：バリアフリーの観点から、エレベーターの設置位置の分かりやすさが大切だと思う。香港は上下空間の活用が盛んで、案内が分かりやすく明記されている。

△：駅周辺では案内表示板を設置しているが、工夫できるところは工夫していきたい。

○：横断歩道はドライバーの目線で設置されているように思う。学校近くの横断歩道については、子供目線で横断歩道の設置場所を検討してほしい。

△：横断歩道は交通管理者の管轄となっており、設置場所については人が滞留できる空間の確保など、物理的な条件がある。使いやすい場所に設置したいが土地の確保が難しい場合もあり、交通管理者などと連携して対応を進めていきたい。

○：Ｐ６でビッグデータなども活用した交通安全対策のなどもという表現は違和感があるので、「交通安全対策におけるビッグデータなどの活用」などへ表現を見直してほしい。

△：従来の交通安全対策に加え、今後はビッグデータも用いて、速度超過の車両や急ブレーキが多い地点などの分析を行い、交通安全対策に活用していきたい。記載内容については検討する。

（３）次回の懇談会について

特に意見なし